



Peace Now! News No. 2

～広島・長崎・沖縄 2018年企画予告①～



全国大学生協連
発行日：2018/6/8
発行者：中山拓登

Peace Now! Hiroshimaのご案内

現時点での計画をお伝えします！

(本NEWSのご案内内容は変更される場合があります。今後発信するPeace Now! NEWS およびPeace Now! HPを随時ご確認ください。)



Peace Now! 2018 テーマ

受け継ぐ想い 伝えゆく未来



Peace Now! Hiroshima 2018 の概要

日時：2018年8月5日(日) 13:00 ～ 8日(水) 14:30

※時間は多少変更する場合があります

場所：広島市内(資料館、戦跡など)

申込方法：ご自身が組合員になっている大学生協の窓口へ、参加の旨をお伝えください。

申込締切：6月30日(土)

★集合・解散について

集合場所：広島ピースホテル 開始時間 13:00

(〒733-0011 広島県広島市西区横川町2丁目6-14 URL：<http://www.peace-h.com/>)

解散場所：広島ピースホテル 解散時間 14:30

※当日の集合場所等へのアクセスマップは後日発信予定の携行版をご覧ください。

Peace Now! Hiroshima 2018 獲得目標

①「ヒロシマ」を知り、広島で追体験する

②様々な視点や考え方に触れ、
自分たちにとっての平和な社会を考える

③今自分にできること、これから自分たちにできることを
言葉にする

獲得目標に合わせて、8名の実行委員会にて学びを作成中です！



開催地・広島はどのようなところ？

広島は1945年（昭和20年）8月6日午前8時15分、人類史上初めての原子爆弾が投下された場所です。当時の広島は陸軍の施設が集中していき、やがて学都・軍都という2つの顔をもつ都市として知られるようになりました。1920年代から発展し始めた重工業も1930年代後半には軍需工業化していきました。

原爆が落ちたこの日、広島は雲ひとつない良い天気でした。

〈原爆ドーム〉

元は広島県物産陳列館として開館し、原爆投下当時は広島県産業奨励館と呼ばれていました。ユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されており、「二度と同じような悲劇が起こらないように」との戒めや願いをこめて、『負の世界遺産』とも呼ばれています。



〈原爆死没者慰霊碑〉

平和記念公園の敷地内の、広島平和記念資料館と原爆ドームを結ぶ直線上に設置されています。原爆犠牲者の霊を雨露から守りたい、という気持ちから、屋根の部分のはにわの家型をしています。中央の石室（石棺）には、国内外を問わず、亡くなった原爆被爆者すべての氏名を記帳した名簿が納められています。



1945年・ヒロシマで起こったこと



米国が原爆を投下した理由はさまざまあるといわれ、日本をできる限り早く降伏させ、米軍の犠牲を少なくしたかった、大戦後にソ連より優位に立ちたいと考えていた、膨大な費用を使った原爆開発を国内向けに正当化したかった、などと言われています。

広島が原爆の投下目標とされた理由は、軍隊、軍事施設、軍需工場が集中しており、まだ破壊されずに残っていたこと、8月6日の広島の天気は晴れだったこと、さまざまな条件が重なったためと言われています。

こうしたさまざまな経緯があり、結果として原爆がヒロシマの地に落とされました。

広島には、平和記念公園や平和記念資料館などに、当時のまま保存されている遺品や碑が数多くあります。そこからは、「広島では〇万人が亡くなった」「〇万人が生き残った」という数字だけの情報からは読み取ることのできない、その場所・物・遺構にまつわる物語に触れることができます。



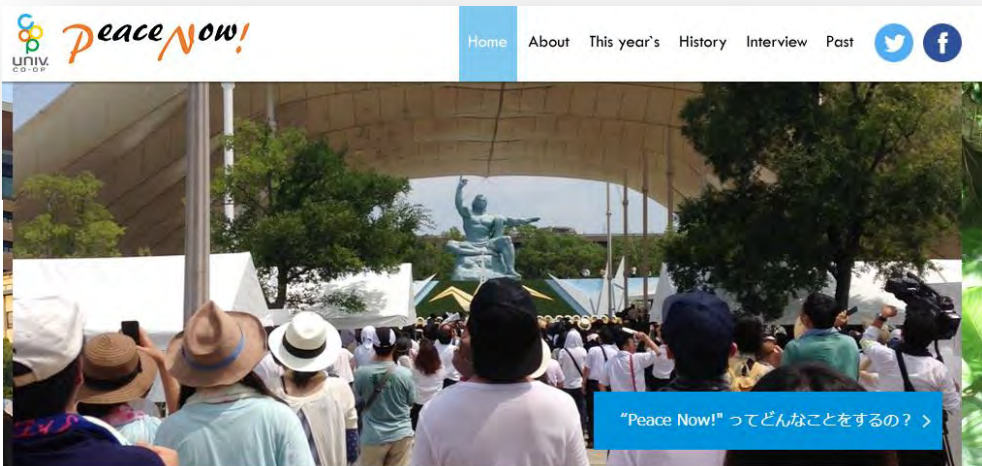
Peace Now! についてもっと知りたい！

Peace Now! 特設HPを
見てみよう！（大学生協連HP）
<http://www.univcoop.or.jp/peacenow/index.html>

こちらから
アクセス！ →→→



インタビュー記事や
過去のPeace Now!の
情報などがあります！



**企画詳細・当日に向けたご案内 広島編は
7月発行予定です！**

本ニュースに関するお問い合わせは
全国大学生協連学生委員会 中山拓登 (nakayama.tk@fc.univcoop.or.jp) までお願いいたします。